

海 洋 概 報

(海 氷 編)

北海道周辺の海水状況

観測期間：令和6年12月～令和7年4月

第一管区海上保安本部

目 次

1	はじめに	1
2	観測実施状況	1
	(1) 当庁の観測	1
	イ 沿岸観測	1
	ロ 巡視船艇による観測	1
	ハ 航空機による観測	2
	(2) その他の機関による観測	2
	イ 沿岸観測	2
	ロ 人工衛星による観測	2
3	海氷状況	4
	(1) 月別海氷状況	4
	イ 1月	4
	ロ 2月	4
	ハ 3月	4
	ニ 4月	4
	(2) 月別港内状況一覧（港内氷量）	10
4	海氷状況の情報提供	15
	(1) 海氷速報の提供	16
	(2) インターネット	16
	(3) 無線	16
5	海氷による海難	16
6	沿岸海氷統計	17
7	今季の海氷状況	27

令和6年～令和7年における北海道周辺海域の海氷状況

1 はじめに

第一管区海上保安本部では、海氷による海難を防止する目的で、毎年冬季に「海氷情報センター」を設置し海氷情報の収集及び提供を行っている。これは、昭和45年3月、択捉島において海氷による集団海難が発生し、多数の死亡者及び行方不明者を出した事故を契機としている。

今季の「海氷情報センター」は、令和6年12月20日に開所し、令和7年4月15日をもって閉所となった。なお、今期は海氷に起因する海難は発生していない。

本報告書は今季の「海氷情報センター」設置期間における海氷観測の結果を取りまとめたものである。

2 観測実施状況

(1) 当庁の観測

イ 沿岸観測

陸上からの沿岸観測地点及び観測項目は図1及び表1のとおりで、毎日9時から12時までの間に実施した。



図1 沿岸観測地点

表1 沿岸観測地点及び観測項目

観測地点
稚内海上保安部
網走海上保安署
羅臼海上保安署(平日のみの観測)
根室海上保安部
根室海上保安部花咲分室(平日のみの観測)
観測項目
視程、氷量、氷種、分布状況及び航行障害状況

ロ 巡視船艇による観測

巡視船艇によるアイスパトロール及びしょう戒行動時において、海氷は18件観測された。(表2)

表2 巡視船艇による観測

船名	所属	件数	船名	所属	件数
りしり	稚内	1	きたぐも	根室	3
くなしり	根室	1	だいせつ	紋別	1
かりば	根室	3	てしお	羅臼	9

また、巡視船そうやによる海氷観測を令和7年2月20日～2月26日に実施しており、この報告は別途「令和6年度オホーツク海南西海域海氷観測報告書」に取りまとめている。

ハ 航空機による観測

航空機による海氷観測では、搭乗した観測員が海氷分布図を作成し、その日の海氷速報に使用した。年度計画により予定していた15回の観測のうち、海氷が南下していなかったため中止した1回、業務都合等のため中止した2回及び海氷域が後退し海氷情報センターが閉所となったため中止した1回を除く11回実施したほか、しょう戒行動時に海氷観測の報告が6件あった。(表3)

表3 航空機による観測

	実施日	機種	備考		実施日	機種	備考
1	1月 9日	MA727		10	2月 23日	MH922	巡視船そうや搭載機
2	1月 14日	MA723		11	2月 24日	MH922	巡視船そうや搭載機
3	1月 23日	MA727		12	2月 25日	MH922	巡視船そうや搭載機
4	2月 5日	MA727		13	3月 5日	MA727	
5	2月 10日	MA723		14	3月 19日	MA724	
6	2月 14日	MA727		15	3月 25日	MA727	
7	2月 16日	MH909	しょう戒時	16	4月 1日	MA724	
8	2月 22日	MH922	巡視船そうや搭載機	17	4月 8日	MA724	
9	2月 23日	MH909	しょう戒時				

(2) その他の機関による観測

当庁の他、外部諸機関より各種海氷観測資料を入手した。

なお、各資料の入手件数は表4のとおりである。

イ 沿岸観測

- ・独立行政法人 北方領土問題対策協会

毎日正午（定休日を除く）に納沙布岬の海氷目視観測が実施され、ファクシミリにより提供を受けた。

- ・オホーツク・ガリンコタワー株式会社

紋別の海氷目視観測及びタワーレーダーによる観測が実施され、特異事象について別途電子メールにより提供を受けた。

- ・道東観光開発株式会社

網走の海氷目視観測が実施され、ファクシミリにより提供を受けた。

- ・もんべつ海の学校

ウェブサイトから入手した。

ロ 人工衛星による観測

・気象庁海洋気象情報室

気象衛星等の情報を解析し作成された海水解析図を、気象庁ウェブサイトから入手した。

・宇宙航空研究開発機構

陸域観測技術衛星2号「だいち2号」による PALSAR-2（フェーズドアレイ方式Lバンド合成開口レーダー）画像、気候変動観測衛星「しきさい」（GCOM-C）の SGLI 画像及び水循環変動観測衛星「しずく」（GCOM-W）の AMSR2 画像を JAXA ウェブサイト等から入手し、海水分布状況の解析に使用した。

・東海大学情報技術センター

地球観測衛星 AQUA から受信した MODIS 画像並びに地球観測衛星 suomi NPP 及び JPSS1 から受信した VIIRS 画像を同大学のウェブサイトから入手し、海水分布状況の解析に使用した。

表 4 観測資料入手件数

海上保安庁による観測		海上保安庁以外の機関による観測	
・沿岸観測 保安部署	435	・沿岸観測 独立行政法人 北方領土問題対策協会	4
・巡視船艇	18	オホーツク・ガリンコタワー株式会社	54
・航空機	17	道東観光開発株式会社	41
		もんべつ海の学校	76
		・人工衛星	
		気象庁海洋気象情報室 (海水解析図)	32
		宇宙航空研究開発機構 (JAXA) (水循環変動観測衛星「しずく」)	464
		(気候変動観測衛星「しきさい」)	230
		(陸域観測技術衛星2号「だいち2号」)	83
		東海大学情報技術センター (地球観測衛星AQUA)	172
		(地球観測衛星suomi NPP及びJPSS1)	361
合 計 (件)	470	合 計 (件)	1,517

3 海氷状況

各月別の海氷状況及び港内状況は、次のとおりである。

なお、オホーツク海及び周辺の主要地名等一覧を図 2 に示す。

(1) 月別海氷状況

イ 1 月 (図 3.1)

上旬：オホーツク海の海氷は、7 日に北緯 46 度以南に達したのが確認され、北緯 45.5 度付近まで南下した。

中旬：オホーツク海の海氷は、北緯 44.7 度付近まで南下したが、本体の南下は確認できず、本体から離れた氷が停滞していた。

下旬：オホーツク海の海氷は本体から離れた海氷が南下し 23 日に知床半島に接岸したが、その後融解した、本体は北緯 44.7 度付近まで南下した。

ロ 2 月 (図 3.2)

上旬：オホーツク海の海氷は、海氷域を拡大し枝幸から紋別付近にかけて接岸した、一部の海氷は宗谷海峡を抜け日本海側へ流出も見られた。

中旬：オホーツク海の海氷は、海氷域を拡大しながら東に移動、宗谷岬から知床岬までの広い範囲で接岸した。日本海への流出も複数回見られた。

下旬：オホーツク海の海氷は、海氷域を拡大しながら勢力を東へ移動し、21 日には根室海峡へ流入し、その後国後島に接岸し国後水道を抜けて南下を続け太平洋側へと流出した。

ハ 3 月 (図 3.3)

上旬：オホーツク海の海氷は、勢力を維持しつつ北海道沿岸に存在、網走～知床半島に接岸を続け、根室海峡への流入、国後水道から太平洋への流出は継続した、また、アニワ湾内の海氷を確認した。

中旬：オホーツク海の海氷は、海氷域の密接度が全体的に小さくなる、根室水道への流入は継続、国後水道から太平洋への流出は確認されなくなった。

下旬：オホーツク海の海氷は、急速に融解が進む、根室水道に流入した海氷も融解が進む、アニワ岬付近に海氷域が存在するも融解が著しい。

ニ 4 月 (図 3.4)

上旬：オホーツク海の海氷は、更に融解が進み、根室海峡に残っていた海氷は融解した、アニワ岬付近に海氷域が存在するも融解が進んでいる。

中旬：オホーツク海の海氷は融解が進み、13 日に北緯 46 度以南最後の海氷が確認されたが、14 日には海氷が確認されなかったため、翌 15 日に今期の海氷情報センター業務を終了した。

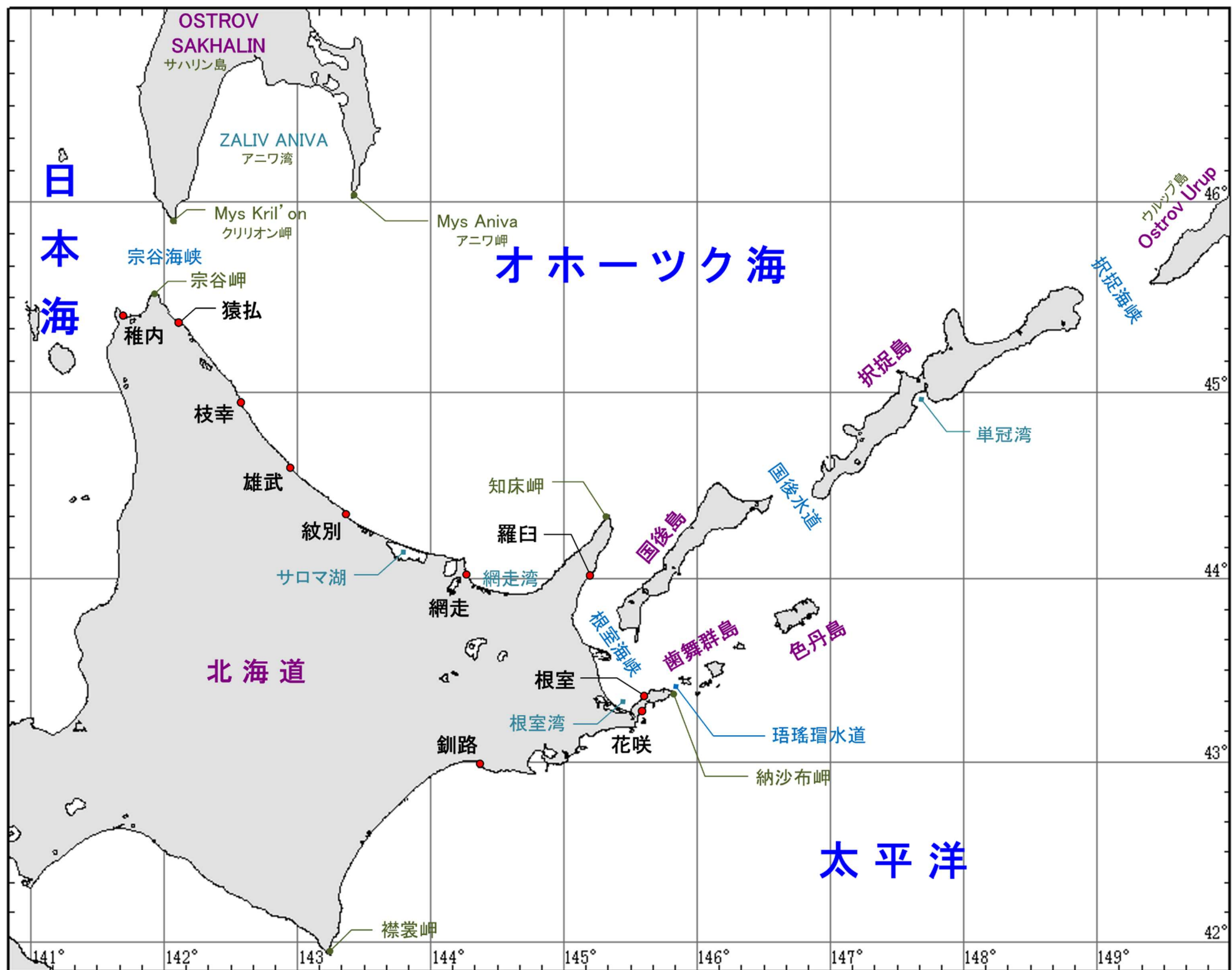
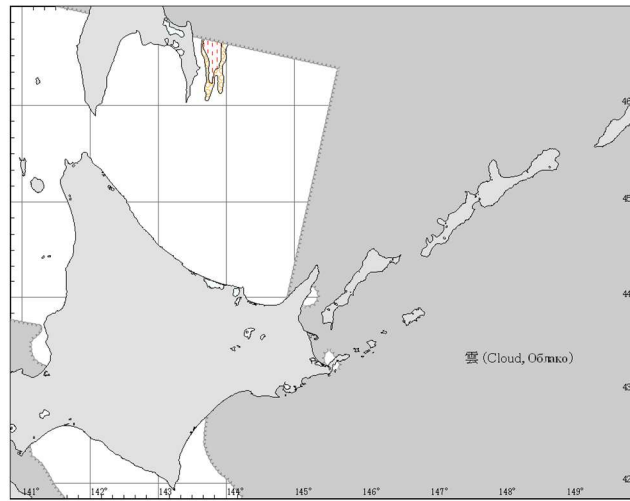
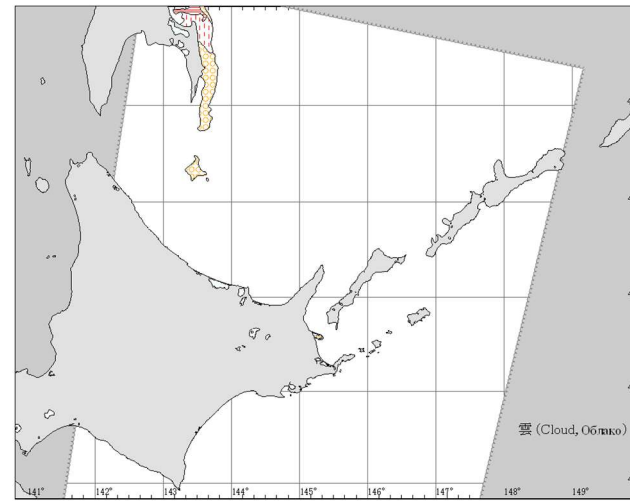


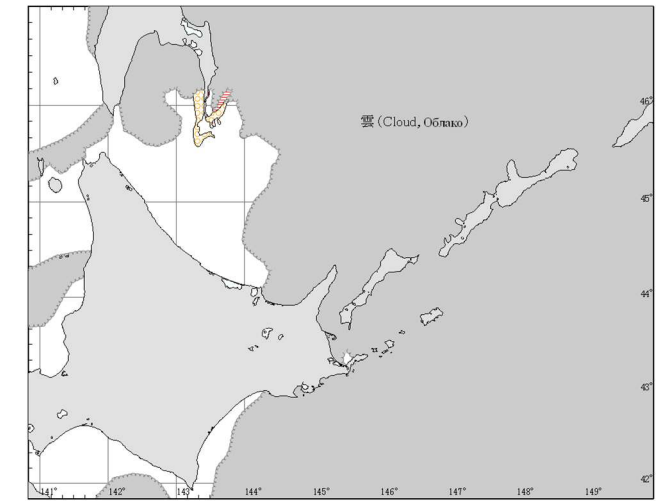
図2 主要地名等一覧



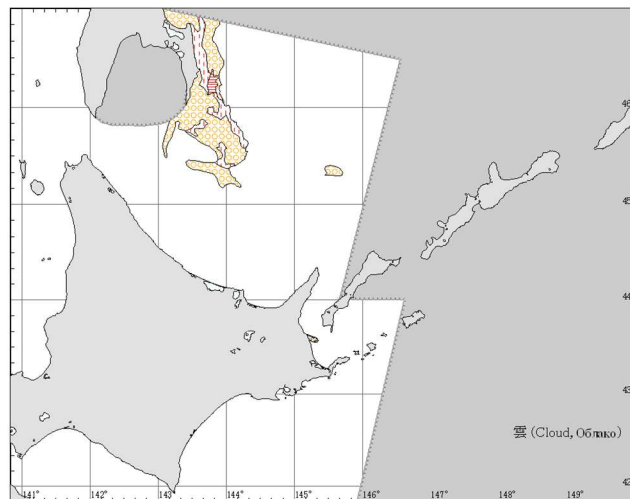
Jan. 07, 2025



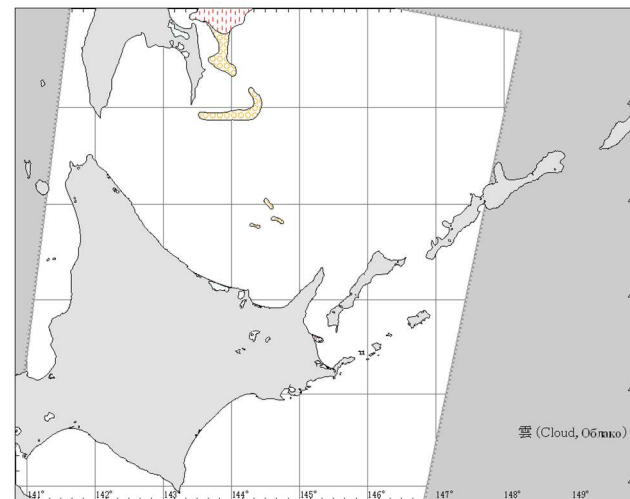
Jan. 11, 2025



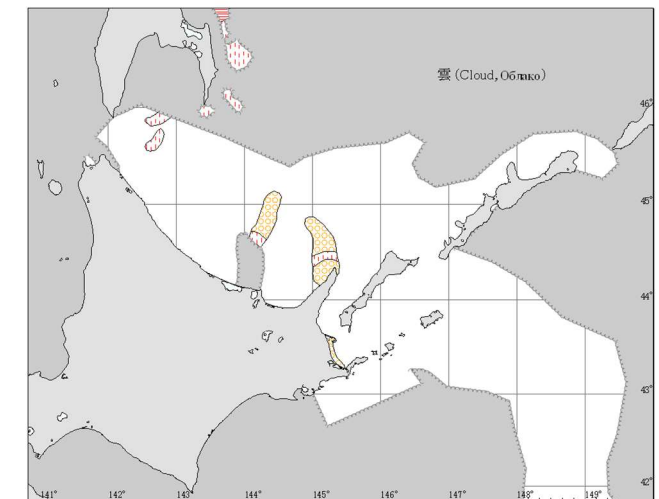
Jan. 13, 2025



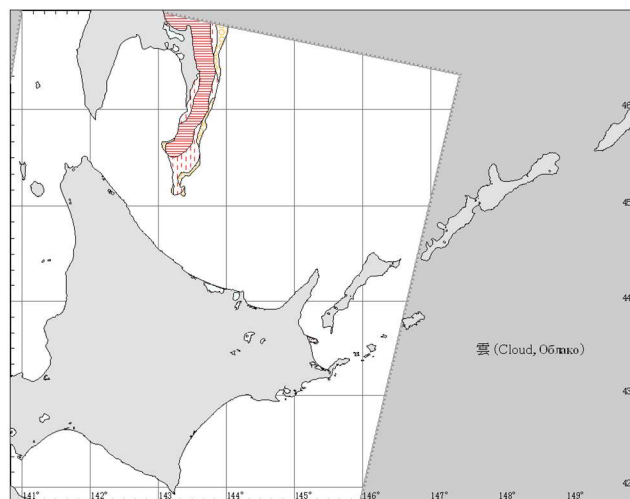
Jan. 16, 2025



Jan. 20, 2025



Jan. 23, 2025



Jan. 30, 2025

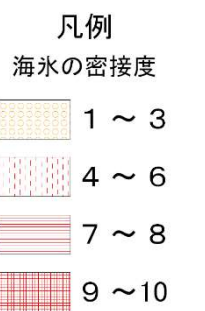
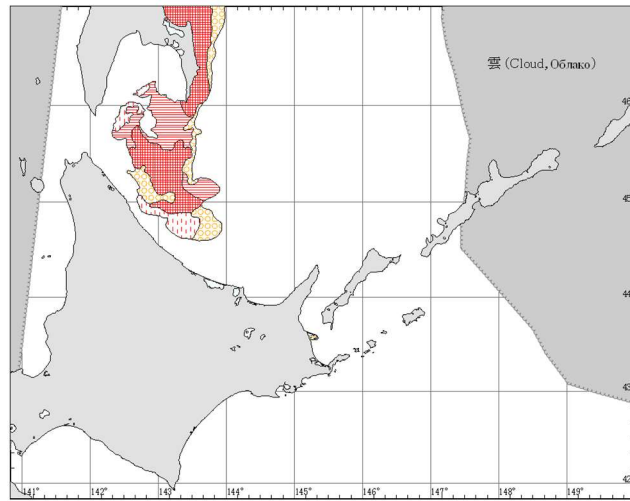
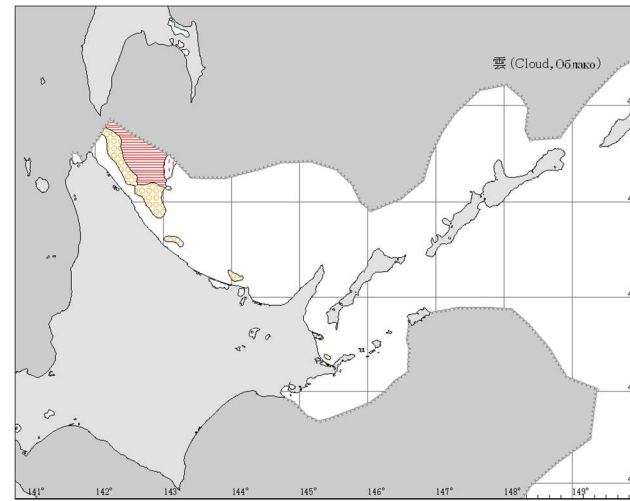


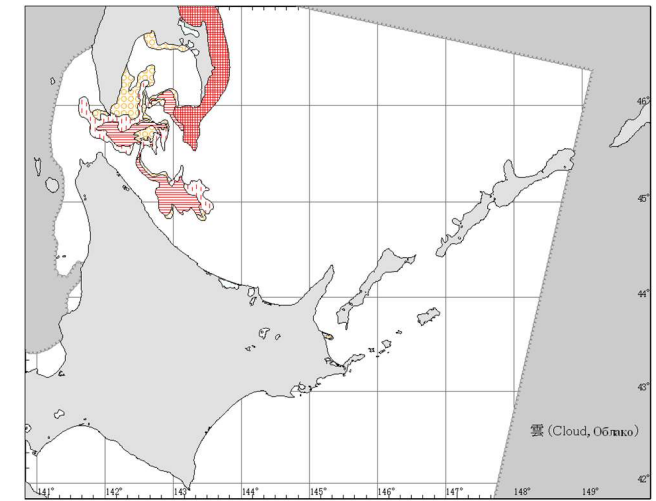
図 3.1 海水分布（2025 年 1 月）



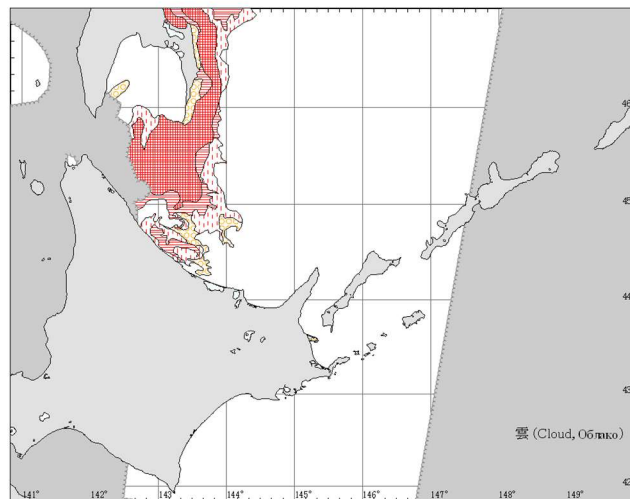
Feb. 03, 2025



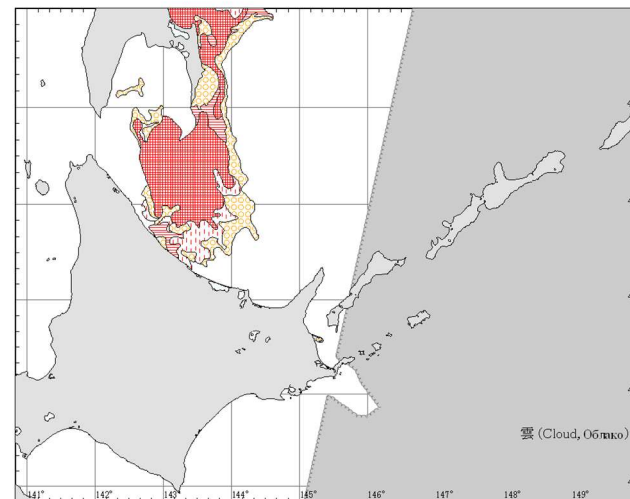
Feb. 05, 2025



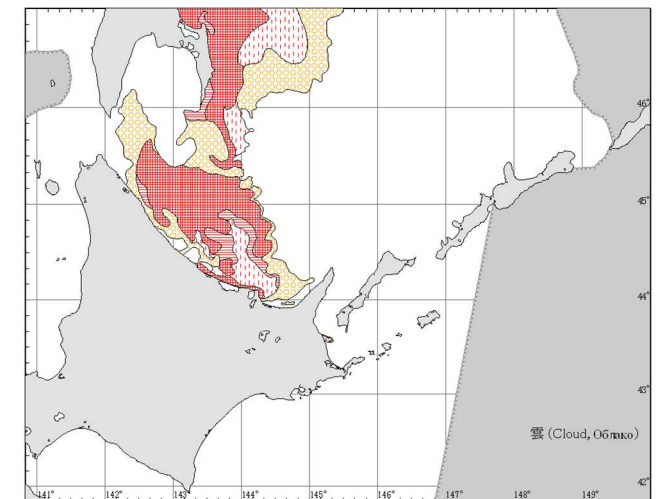
Feb. 08, 2025



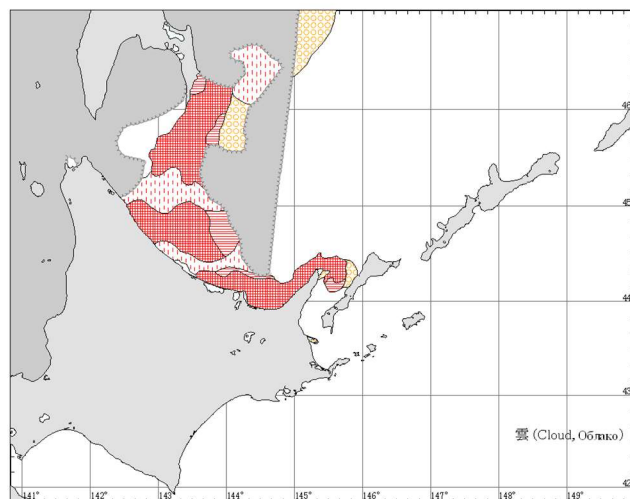
Feb. 12, 2025



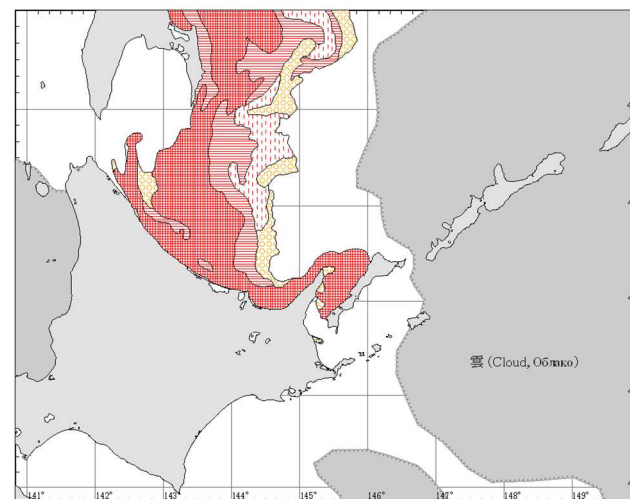
Feb. 13, 2025



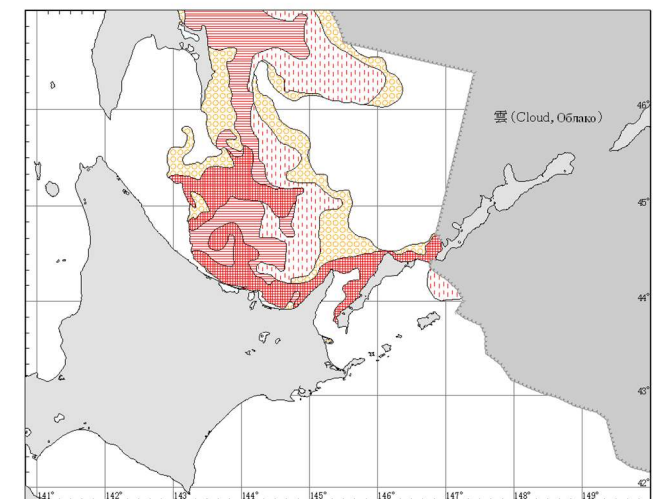
Feb. 17, 2025



Feb. 21, 2025



Feb. 24, 2025



Feb. 27, 2025

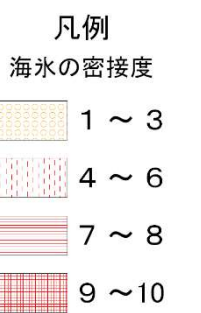
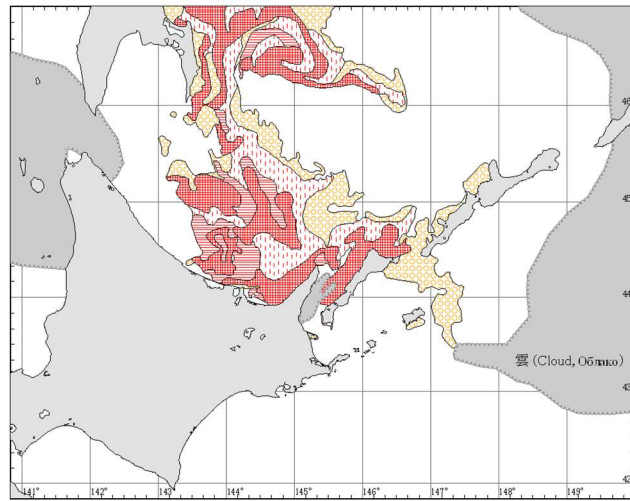
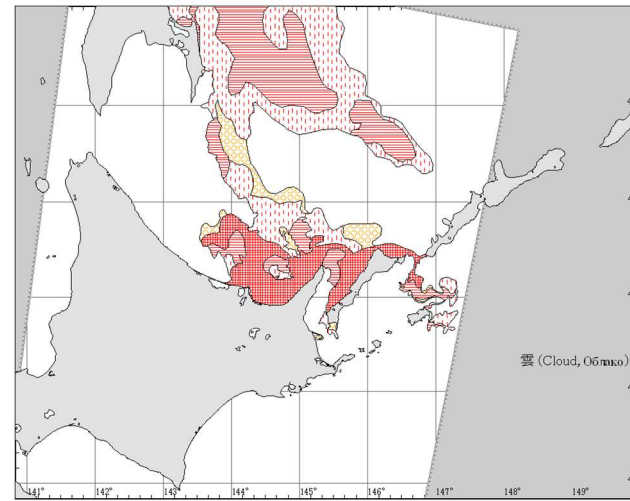


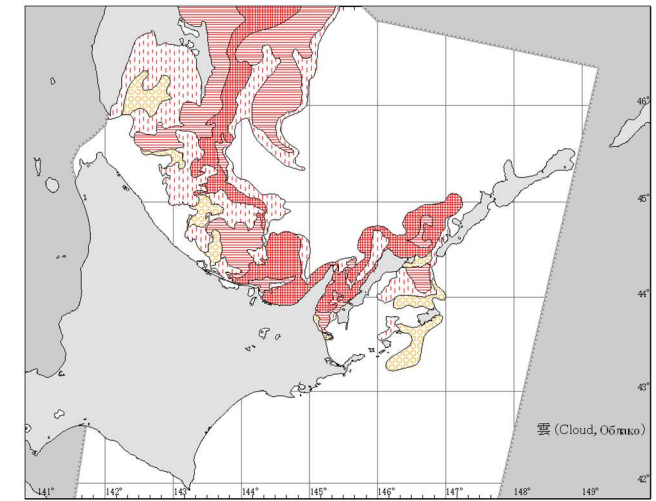
図 3.2 海水分布 (2025 年 2 月)



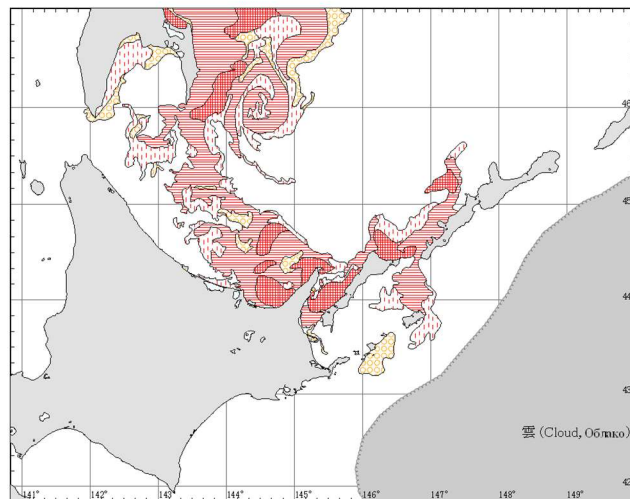
Mar. 01, 2025



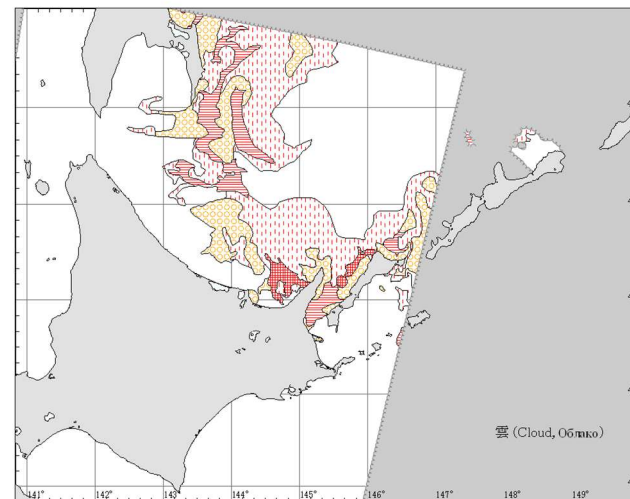
Mar. 03, 2025



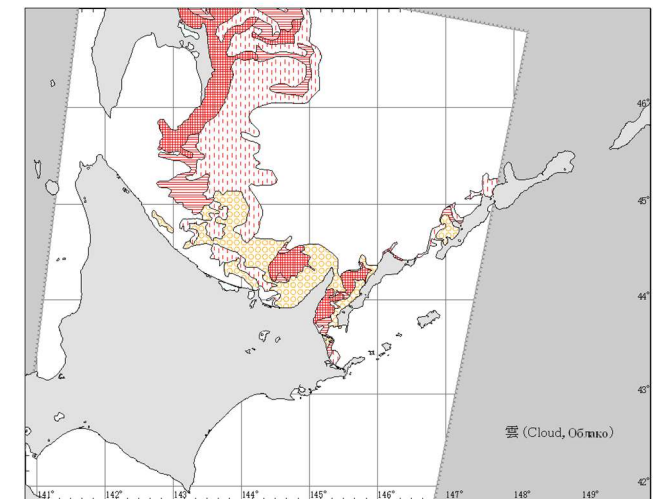
Mar. 08, 2025



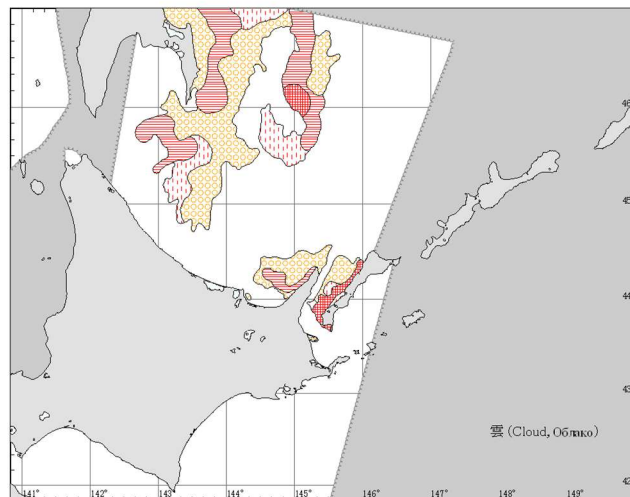
Mar. 10, 2025



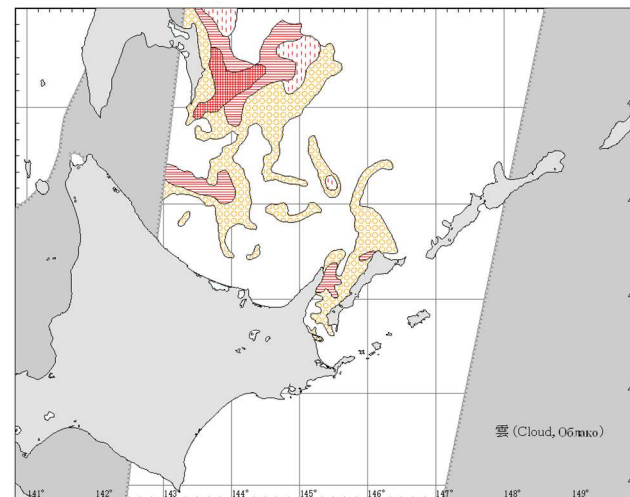
Mar. 13, 2025



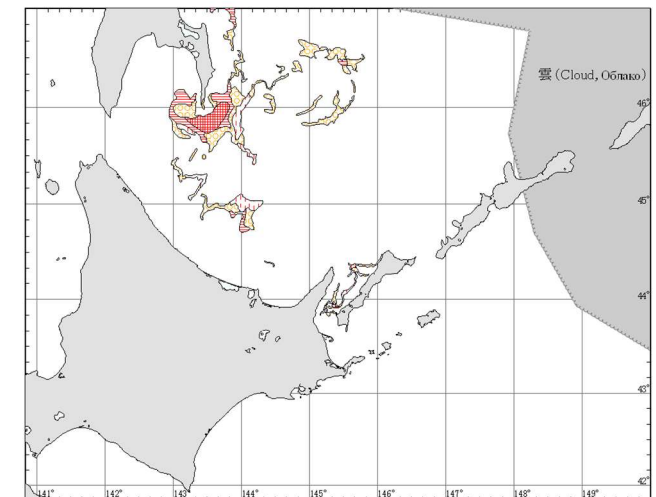
Mar. 17, 2025



Mar. 22, 2025



Mar. 26, 2025



Mar. 31, 2025

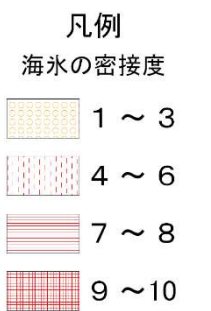
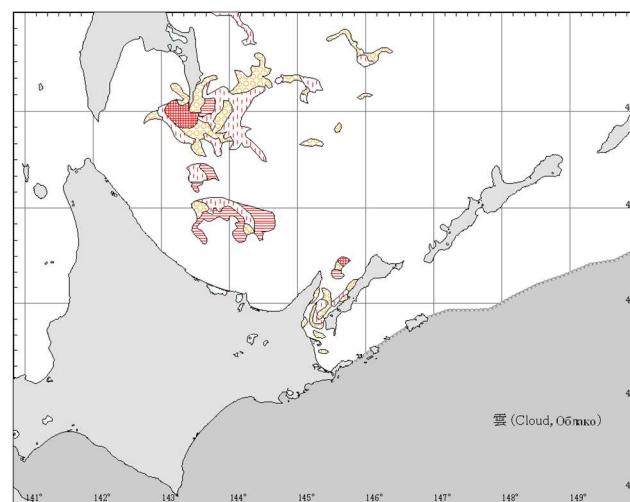
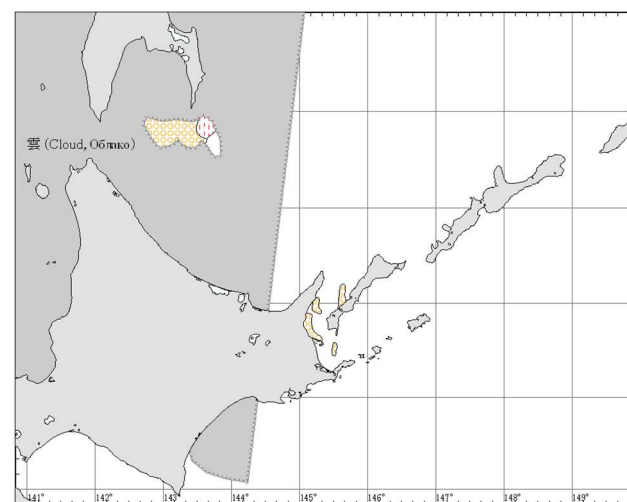


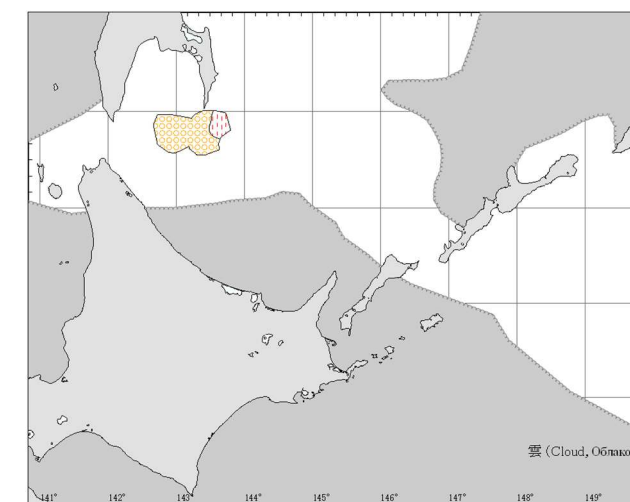
図 3.3 海水分布 (2025 年 3 月)



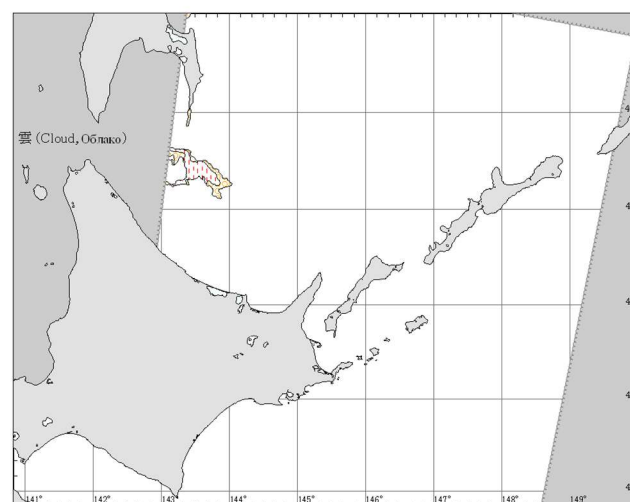
Apr. 01, 2025



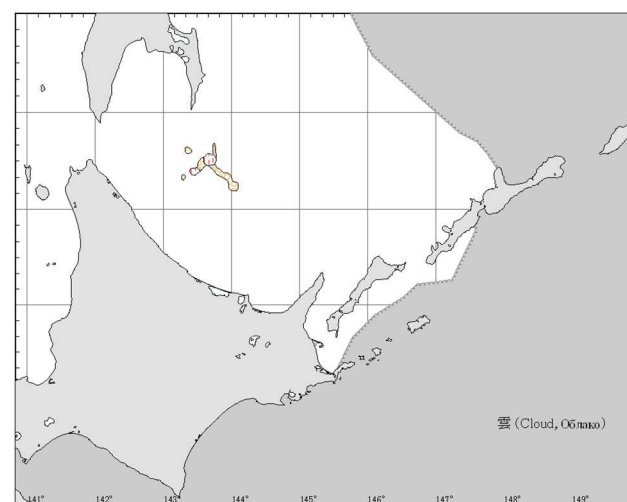
Apr. 04, 2025



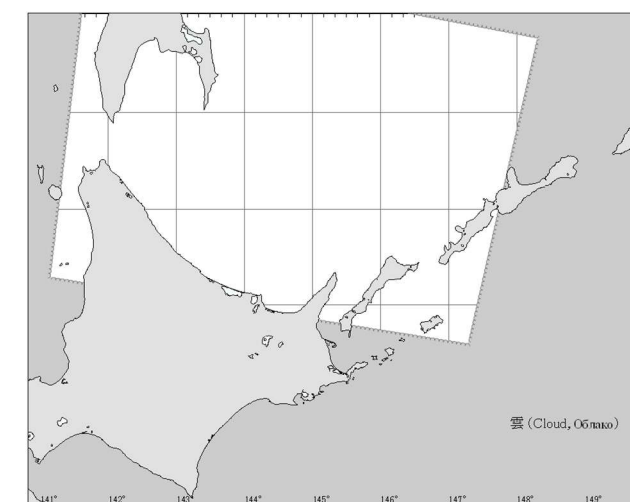
Apr. 06, 2025



Apr. 09, 2025



Apr. 11, 2025



Apr. 14, 2025

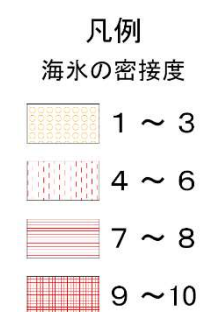


図 3.4 海水分布 (2025 年 4 月)

(2) 月別港内状況一覧（港内氷量）

各沿岸観測地点における港内の状況は、表 6 のとおりである。
 なお、海氷の種類と記号については表 5 に示すとおりである。

表 5 海氷の種類と記号

記号	種類	記号	細分類	厚さ・大きさ
N	新成氷	Cr Gr Sl Sg	晶氷 グリースアイス 雪泥 スポンジ氷	
Ni	ニラス	Nd Nl R	暗いニラス 明るいニラス 氷殻	厚さ5cm未満 厚さ5～10cm 厚さ5cm程度
P	はず葉氷	P	はず葉氷	厚さ10cm程度
Y	板状軟氷	Y1 Y2	薄い板状軟氷 厚い板状軟氷	厚さ10～15cm 厚さ15～30cm
W	一年氷	W0 W1 W2	薄い一年氷 並の一年氷 厚い一年氷	厚さ30～70cm 厚さ70～120cm 厚さ120cm以上
Br	砕け氷	Br	砕け氷	直径2m以下
Ck	板氷	Cs Ck	小板氷 板氷	直径2m以下 直径2～20m
F	氷盤	Fs Fm Fb Fv Fg	小氷盤 中氷盤 大氷盤 巨氷盤 巨大氷盤	直径20～100m 直径100～500m 直径500～2000m 直径2～10km 直径10km以上

表 6.1 港内状況一覧（2024 年 12 月）

日	稚内	氷量	網走	氷量	羅臼	氷量	根室	氷量	花咲	氷量
20		0		0		0		0		0
21		0		0				0		
22		0		0				0		
23		0		0		0		0		0
24		0		0		0		0		0
25		0		0		0		0		0
26		0		0		0		0		0
27		0		0		0		0		0
28		0		0				0		
29		0		0				0		
30		0		0				0		
31		0		0				0		

※氷量は、港内全域の海面を 10 として海氷で覆われた面積の割合を示したもの。

※氷量が 1 に満たないときは 0+、氷量が 10 でも多少の隙間があるときは 10-とする。

※★印は、港内及び観測地点付近において海氷による航行障害が発生したことを示す。

※航行障害とは、海氷により船の航行が妨げられること。

※羅臼、花咲においては、土日祝日の観測を行っていない。

表 6.2 港内状況一覧（2025 年 1 月）

日	稚内	氷量	網走	氷量	羅臼	氷量	根室	氷量	花咲	氷量
1		0		0				0		
2		0		0			Gr, Y	0+		
3		0		0			Gr, Y	0+		
4		0		0			Gr, Y	0+		
5		0		0			Gr, Y	0+		
6		0		0		0	Gr	0+		0
7		0		0		0		0		0
8		0		0		0		0		0
9		0		0		0		0		0
10		0		0		0		0		0
11		0		0				0		
12		0		0				0		
13		0		0				0		
14		0		0		0		0		0
15		0		0		0		0		0
16		0		0		0		0		0
17		0		0		0		0		0
18		0		0				0		
19		0		0				0		
20		0		0		0		0		0
21		0		0		0		0		0
22		0		0		0		0		0
23		0		0		0	Gr	2		0
24		0		0		0		0		0
25		0		0				0		
26		0		0				0		
27		0		0		0		0		0
28		0		0		0		0		0
29		0		0		0		0		0
30		0		0		0		0		0
31		0		0		0		0		0

※氷量は、港内全域の海面を 10 として海氷で覆われた面積の割合を示したもの。

※氷量が 1 に満たないときは 0+、氷量が 10 でも多少の隙間があるときは 10-とする。

※★印は、港内及び観測地点付近において海氷による航行障害が発生したことを示す。

※航行障害とは、海氷により船の航行が妨げられること。

※羅臼、花咲においては、土日祝日の観測を行っていない。

表 6.3 港内状況一覧（2025 年 2 月）

日	稚内	氷量	網走	氷量	羅臼	氷量	根室	氷量	花咲	氷量
1		0		0				0		
2		0		0				0		
3		0		0		0		0		0
4		0		0		0		0		0
5		0		0		0		0		0
6		0		0		0		0		0
7		0		0		0		0		0
8		0		0				0		
9		0		0				0		
10		0		0		0		0		0
11		0		0				0		
12		0		0		0		0		0
13		0		0		0		0		0
14		0		0		0		0		0
15		0		0				0		
16		0		0				0		
17		0		0		0		0		0
18		0	P, Br★	1		0		0		0
19		0	Gr, P★	0+		0		0		0
20		0	Gr, P★	3		0		0		0
21		0	Gr★	1		0		0		0
22		0	Gr★	1				0		
23		0	Gr, Br★	2				0		
24		0	Br★	2				0		
25		0	Gr, Br★	0+		0		0		0
26		0	Gr★	2		0		0		0
27		0		0		0		0		0
28		0	Br★	0+		0		0		0
—		0		0		0		0		0

※氷量は、港内全域の海面を 10 として海氷で覆われた面積の割合を示したもの。

※氷量が 1 に満たないときは 0+、氷量が 10 でも多少の隙間があるときは 10-とする。

※★印は、港内及び観測地点付近において海氷による航行障害が発生したことを示す。

※航行障害とは、海氷により船の航行が妨げられること。

※羅臼、花咲においては、土日祝日の観測を行っていない。

表 6.4 港内状況一覧（2025 年 3 月）

日	稚内	氷量	網走	氷量	羅臼	氷量	根室	氷量	花咲	氷量
1		0	Fs★	0+				0		
2		0	Fs, Gr	1				0		
3		0	Gr★	1		0		0		0
4		0	Gr★	2		0		0		0
5		0	Gr, P★	5		0		0		0
6		0	Gr★	1		0		0		0
7		0	Br, Sl★	0+		0		0		0
8		0	★	0+				0		
9		0		0				0		
10		0	Gr★	1		0		0		0
11		0	Gr★	0+		0		0		0
12		0	Gr	0+	Gr, Br★	5		0		0
13		0		0	Br★	2		0		0
14		0		0		0		0		0
15		0		0				0		
16		0		0			★	7		
17		0		0	視界不良	—		0		0
18		0	Br, Gr★	3	Br, Gr★	3		0		0
19		0	Br, Cs, Ck★	10-	Br, Gr★	0+		0+		0
20		0	Br, Cs, Ck★	8				0+		
21		0	Br, Cs★	1		0		0		0
22		0	Br	0+				0		
23		0	Br	0+				0		
24		0		0		0		0		0
25		0		0		0		0		0
26		0		0		0		0		0
27		0		0		0		0		0
28		0		0		0		0		0
29		0		0				0		
30		0		0				0		
31		0		0		0		0		0

※氷量は、港内全域の海面を 10 として海氷で覆われた面積の割合を示したもの。

※氷量が 1 に満たないときは 0+、氷量が 10 でも多少の隙間があるときは 10-とする。

※★印は、港内及び観測地点付近において海氷による航行障害が発生したことを示す。

※航行障害とは、海氷により船の航行が妨げられること。

※羅臼、花咲においては、土日祝日の観測を行っていない。

表 6.5 港内状況一覧（2025 年 4 月）

日	稚内	氷量	網走	氷量	羅臼	氷量	根室	氷量	花咲	氷量
1		0		0		0		0		0
2		0		0		0		0		0
3		0		0	Gr	0+		0		0
4		0		0		0		0		0
5		0		0				0		
6		0		0				0		
7		0		0		0		0		0
8		0		0		0		0		0
9		0		0		0		0		0
10		0		0		0		0		0
11		0		0		0		0		0
12		0		0				0		
13		0		0				0		
14		0		0		0		0		0
15		0		0		0		0		0

※氷量は、港内全域の海面を 10 として海氷で覆われた面積の割合を示したもの。

※氷量が 1 に満たないときは 0+、氷量が 10 でも多少の隙間があるときは 10-とする。

※★印は、港内及び観測地点付近において海氷による航行障害が発生したことを示す。

※航行障害とは、海氷により船の航行が妨げられること。

※羅臼、花咲においては、土日祝日の観測を行っていない。

4 海氷状況の情報提供

海氷情報センター設置期間中、北海道周辺に海氷域が確認された場合は入手した観測資料を海氷図に取りまとめ、毎日 17 時頃までにインターネットにより海氷速報として提供した。

日本海及び太平洋に海氷の流出がある場合には「地域航行警報(通報区域は港則法適用港及び付近に限る)」及び「NAVTEX 航行警報」により付近航行船舶への安全通報を実施した。また、「海の安全情報(インターネット及び電子メール(登録制))」の緊急情報として通報するとともに、「AIS(船舶自動識別装置)」により情報提供した。

これらの情報の収集と提供の流れについては、図 4 に示すとおりである。

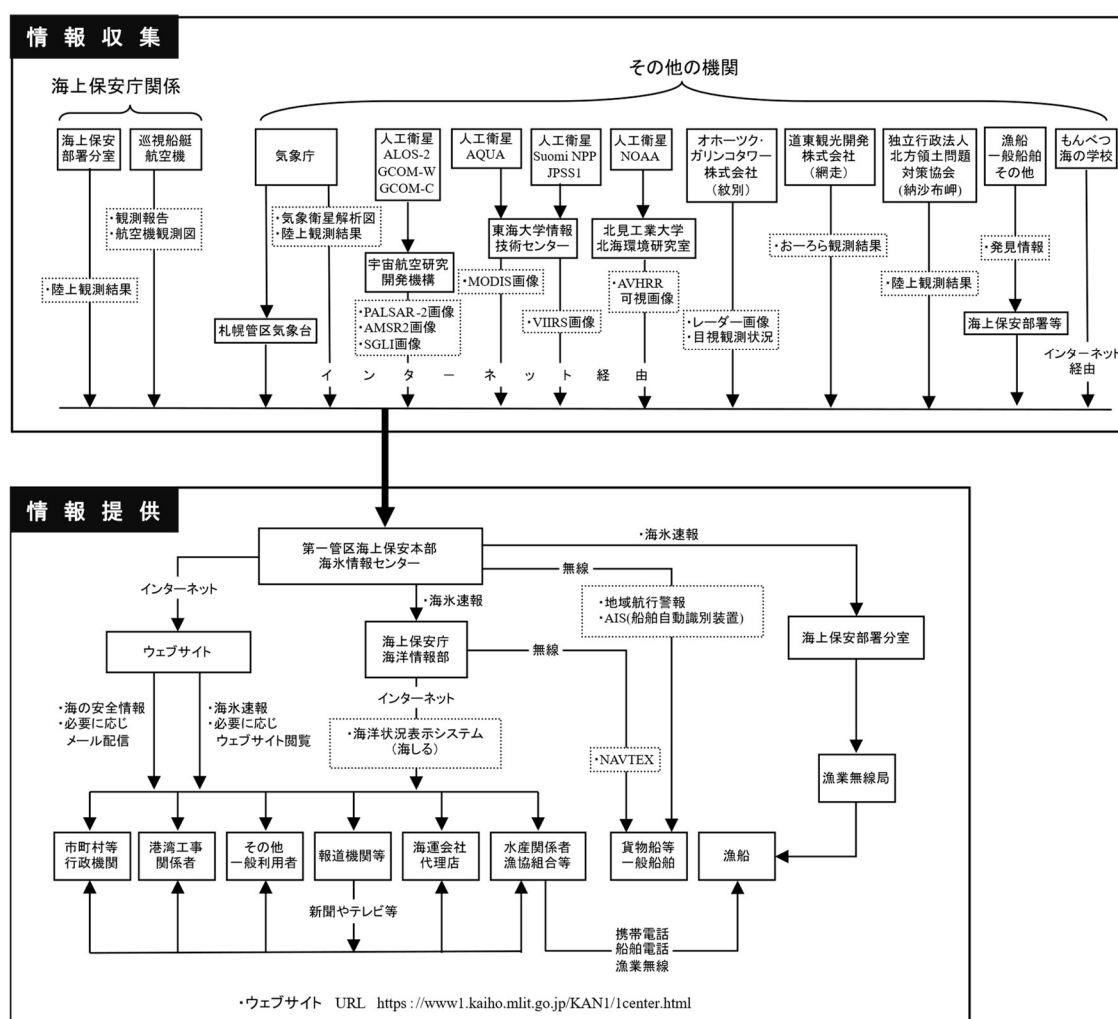


図 4 海氷情報の収集と提供の流れ

(1) 海氷速報の提供

第一管区海上保安本部において、入手した海氷情報を基に令和6年12月20日から令和7年4月14日までの間、海氷速報を作成し、インターネットにより提供した。月別提供件数は表7のとおりである。

表7 海氷速報月別提供件数

	12月	1月	2月	3月	4月	合計
提供件数	3	26	28	31	14	102

(2) インターネット

第一管区海上保安本部のウェブサイトにおいて、海氷速報のほか、航空機による観測図、航空機から撮影した海氷状況（デジタル写真）、船舶等の海氷観測報告及び沿岸観測状況を掲載した。

また、海の安全情報（ウェブサイト）による海氷情報の提供件数は、今季10件であった。

このほか、海上保安庁がインターネット上で提供している海洋状況表示システム（愛称:海しる）においても、海氷情報の提供を行っている。

(3) 無線

北海道沿岸部において日本海及び太平洋に海氷の流出がある場合には、NAVTEX航行警報等により付近航行船舶への安全通報を実施した。オホーツク海、根室海峡を航行しようとする船舶に対し、AIS(船舶自動識別装置)による海氷情報の提供を行った。今季の通報発出件数は、地域航行警報が1件、NAVTEX航行警報が17件、AISメッセージが16件であった。

5 海氷による海難

今期は海氷に起因する海難は発生しなかった。

6 沿岸海氷統計

各沿岸観測地点での観測値について、下記のとおりとりまとめた。

表 9.1～表 9.4	: 沿岸観測平年値
表 10.1～表 10.4	: 沿岸観測一覧表
図 5.1～図 5.3	: 港内及び流氷氷量と全氷量
表 11	: 旬別氷量と全氷量
図 6	: 旬別氷量
図 7	: 結氷・流氷による航行障害状況

表 9 及び表 10 に示す期間とは、初日から終日までの日数を表したものである。
表 9.1、表 9.2、表 10.1 及び表 10.2 に示す日数とは、結氷又は流氷を観測した日数であり、表 9.3、表 9.4、表 10.3 及び表 10.4 に示す日数とは、結氷または流氷による航行障害が発生した日数である。なお、航行障害とは、港内や湾などが海水に覆われ、船の航行が妨げられること。また、初日から終日までの期間中には、結氷又は流氷の無い日も含まれる。

表 9.1 沿岸観測平年値 結氷（1991～2020 年）

結氷	年数	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						12月	1月	2月	3月	4月
稚 内	26	01/15	02/25	37日	16日	0	5	8	2	0
網 走	30	12/30	03/20	81日	63日	2	18	26	16	0
羅 臼	[22]	[02/07]	[03/16]	[28日]	[14日]	[0]	[1]	[8]	[5]	[1]
根 室	30	12/26	03/21	87日	64日	4	21	24	14	1
花 咲	29	01/05	03/18	70日	38日	1	13	17	7	0

※年数は、初日及び終日の平均値の算出に使用した年数で、1991～2020 年のうち結氷が見られた年数。

なお、期間及び日数は、結氷の見られなかった年も含んだ平均値のため、表中の初日から終日までの期間とは一致しないことがある。

※初日とは港内や湾などの海面が凍結した最初の日で、終日とは港内や湾などの海面が凍結した最後の日をいう。

※月別日数は月毎に平均した値で、その合計値は日数の平均値と一致しないことがある。

※羅臼は 2008 年から平日のみの観測となっているため [参考値] としている。

表 9.2 沿岸観測平年値 流氷（1991～2020 年）

流氷	(年)	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						1月	2月	3月	4月	5月
稚 内	12	02/20	03/03	05日	02日	0	1	1	0	0
網 走	30	01/26	03/28	63日	45日	4	20	16	3	0
羅 臼	[30]	[02/10]	[04/02]	[52日]	[27日]	[1]	[10]	[12]	[4]	[0]
根 室	26	02/15	03/21	31日	20日	1	8	10	1	0
花 咲	15	03/04	03/19	08日	04日	0	2	2	1	0

※年数は、初日及び終日の平均値の算出に使用した年数で、1991～2020 年のうち流氷が見られた年数。

なお、期間及び日数は、流氷の見られなかった年も含んだ平均値のため、表中の初日から終日までの期間とは一致しないことがある。

※初日とは視界内の海面に流氷が現れた最初の日で、終日とは視界内の海面で流氷が見えた最後の日をいう。

※月別日数は月毎に平均した値で、その合計値は日数の平均値と一致しないことがある。

※羅臼は 2008 年から平日のみの観測となっているため [参考値] としている。

表 9.3 沿岸観測平年値 結氷による航行障害 (1991～2020 年)

結氷	年数	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						12月	1月	2月	3月	4月
稚 内	9	02/04	02/28	08日	04日	0	1	2	1	0
網 走	29	02/02	03/08	35日	25日	0	2	15	8	0
羅 臼	[19]	[02/14]	[03/13]	[18日]	[05日]	[0]	[0]	[3]	[2]	[0]
根 室	27	01/15	03/14	54日	36日	0	8	16	10	1
花 咲	14	02/18	03/03	06日	03日	0	0	2	1	0

※年数は、初日及び終日の平均値の算出に使用した年数で、1991～2020 年のうち結氷による航行障害が発生した年数。なお、期間及び日数は、結氷による航行障害が発生しなかった年も含んだ平均値のため、表中の初日から終日までの期間とは一致しないことがある。

※初日とは結氷による航行障害が発生した最初の日で、終日とは結氷による航行障害が発生した最後の日をいう。

※月別日数は月毎に平均した値で、その合計値は日数の平均値と一致しないことがある。

※羅臼は 2008 年から平日のみの観測となっているため [参考値] としている。

表 9.4 沿岸観測平年値 流氷による航行障害 (1991～2020 年)

流氷	年数	初日	終日	期間	日数	月別日数				
						1月	2月	3月	4月	5月
稚 内	9	02/22	03/06	04日	01日	0	0	1	0	0
網 走	30	01/30	03/23	54日	37日	3	18	13	2	0
羅 臼	[29]	[02/12]	[03/29]	[45日]	[21日]	[0]	[7]	[9]	[3]	[0]
根 室	24	02/14	03/18	27日	16日	1	7	8	1	0
花 咲	11	03/10	03/18	03日	02日	0	0	1	0	0

※年数は、初日及び終日の平均値の算出に使用した年数で、1991～2020 年のうち流氷による航行障害が発生した年数。なお、期間及び日数は、流氷による航行障害が発生しなかった年も含んだ平均値のため、表中の初日から終日までの期間とは一致しないことがある。

※初日とは流氷による航行障害が発生した最初の日で、終日とは流氷による航行障害が発生した最後の日をいう。

※月別日数は月毎に平均した値で、その合計値は日数の平均値と一致しないことがある。

※羅臼は 2008 年から平日のみの観測となっているため [参考値] としている。

表 10.1 沿岸観測一覧表（結氷）

地名	初日 月日	平年比 日	終日 月日	平年比 日	期間 日	平年比 日	日数 日	平年比 日	月別日数及び平年比									
									12月		1月		2月		3月		4月	
稚内	なし	—	なし	—	0	—	0	−16	0	± 0	0	− 5	0	− 8	0	− 2	0	± 0
網走	02/18	+50	03/23	+ 3	34	−47	27	−36	0	− 2	0	−18	10	−16	17	+ 1	0	± 0
羅臼	03/12	+33	04/03	+18	23	− 5	2	−12	0	± 0	0	− 1	0	− 8	1	− 4	1	± 0
根室	01/02	+ 7	01/23	−57	22	−65	6	−58	0	− 4	6	−15	0	−24	0	−14	0	− 1
花咲	なし	—	なし	—	0	—	0	−38	0	− 1	0	−13	0	−17	0	− 7	0	± 0

※平年比とは、表 9.1 に示す平年値との差を表したものである。

※羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

表 10.2 沿岸観測一覧表（流氷）

地名	初日 月日	平年比 日	終日 月日	平年比 日	期間 日	平年比 日	日数 日	平年比 日	月別日数及び平年比									
									1月		2月		3月		4月		5月	
稚内	なし	—	なし	—	0	− 5	0	− 2	0	± 0	0	− 1	0	− 1	0	± 0	0	± 0
網走	02/16	+21	03/23	− 5	36	−27	31	−14	0	− 4	13	− 7	18	+ 2	0	− 3	0	± 0
羅臼	02/25	+15	04/03	+ 1	38	−14	18	− 9	0	− 1	2	− 8	13	+ 1	3	− 1	0	± 0
根室	03/16	+29	03/20	− 1	5	−26	3	−17	0	− 1	0	− 8	3	− 7	0	− 1	0	± 0
花咲	なし	—	なし	—	0	− 8	0	− 4	0	± 0	0	− 2	0	− 2	0	− 1	0	± 0

※平年比とは、表 9.2 に示す平年値との差を表したものである。

※羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

表 10.3 沿岸観測一覧表（結氷による航行障害）

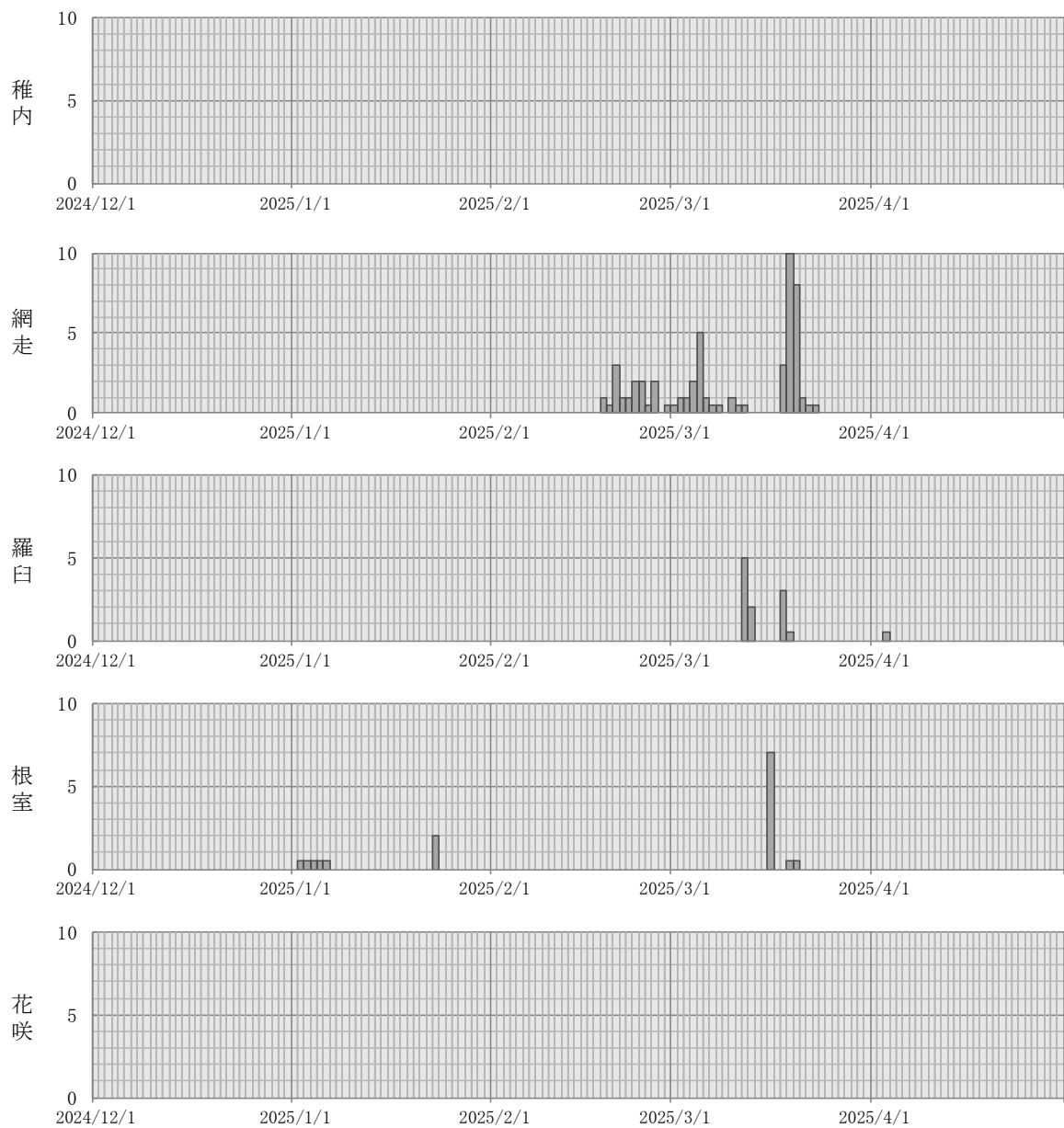
地 名	初日	終日	期間	日数	月別日数				
	月日	月日			12月	1月	2月	3月	4月
稚 内	なし	なし	0	0	0	0	0	0	0
網 走	2月18日	3月21日	32	18	0	0	10	8	0
羅 臼	なし	なし	0	0	0	0	0	0	0
根 室	なし	なし	0	0	0	0	0	0	0
花 咲	なし	なし	0	0	0	0	0	0	0

※羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

表 10.4 沿岸観測一覧表（流水による航行障害）

地 名	初日	終日	期間	日数	月別日数				
	月日	月日			12月	1月	2月	3月	4月
稚 内	なし	なし	0	0	0	0	0	0	0
網 走	2月16日	3月21日	34	27	0	0	12	15	0
羅 臼	3月 7日	4月 2日	27	9	0	0	0	7	2
根 室	3月16日	3月16日	1	1	0	0	0	1	0
花 咲	なし	なし	0	0	0	0	0	0	0

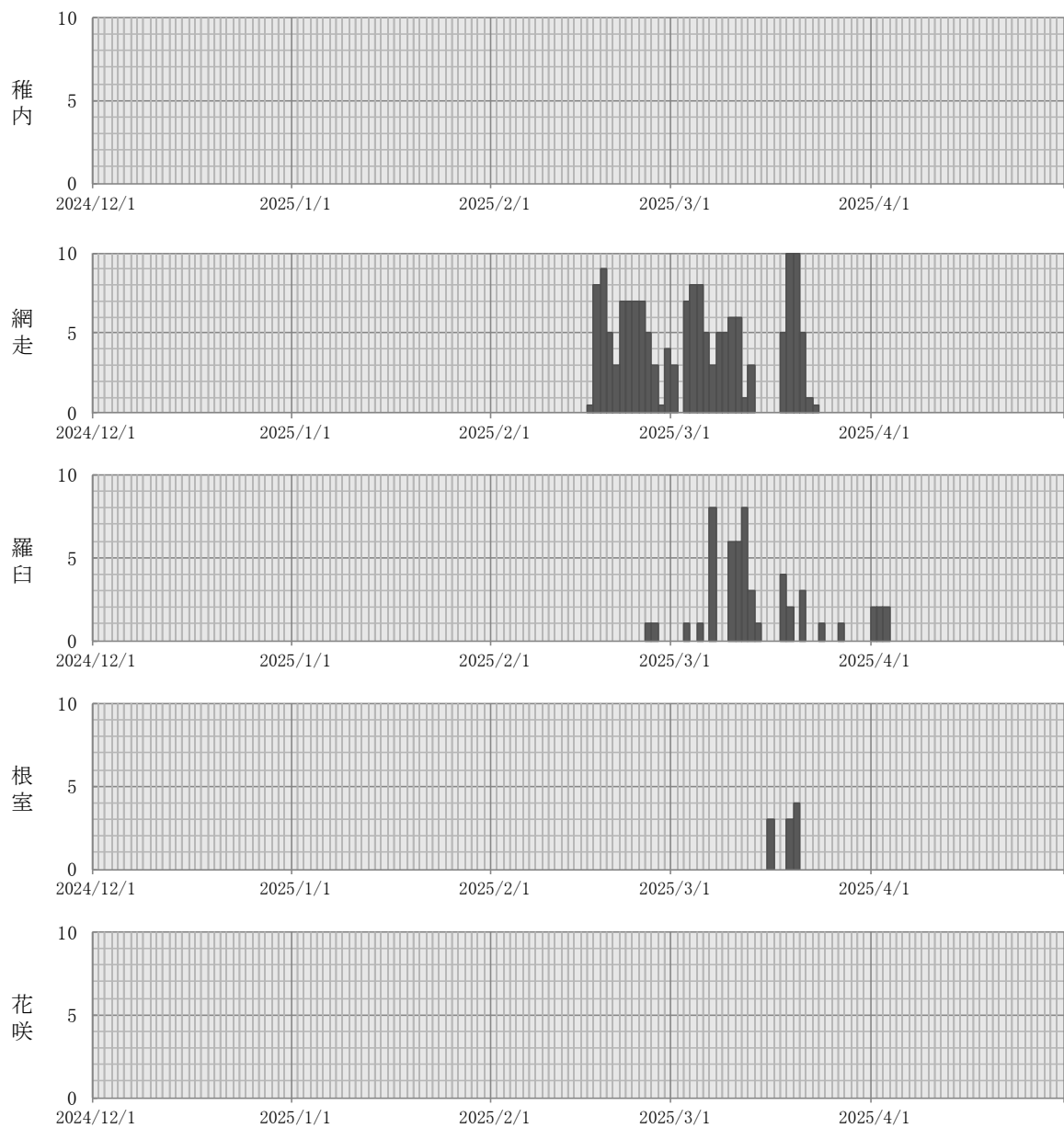
※羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。



※氷量 0+は、1 に満たない氷量だが海水は存在する場合であり、便宜上 0.5 で表示している。

※羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

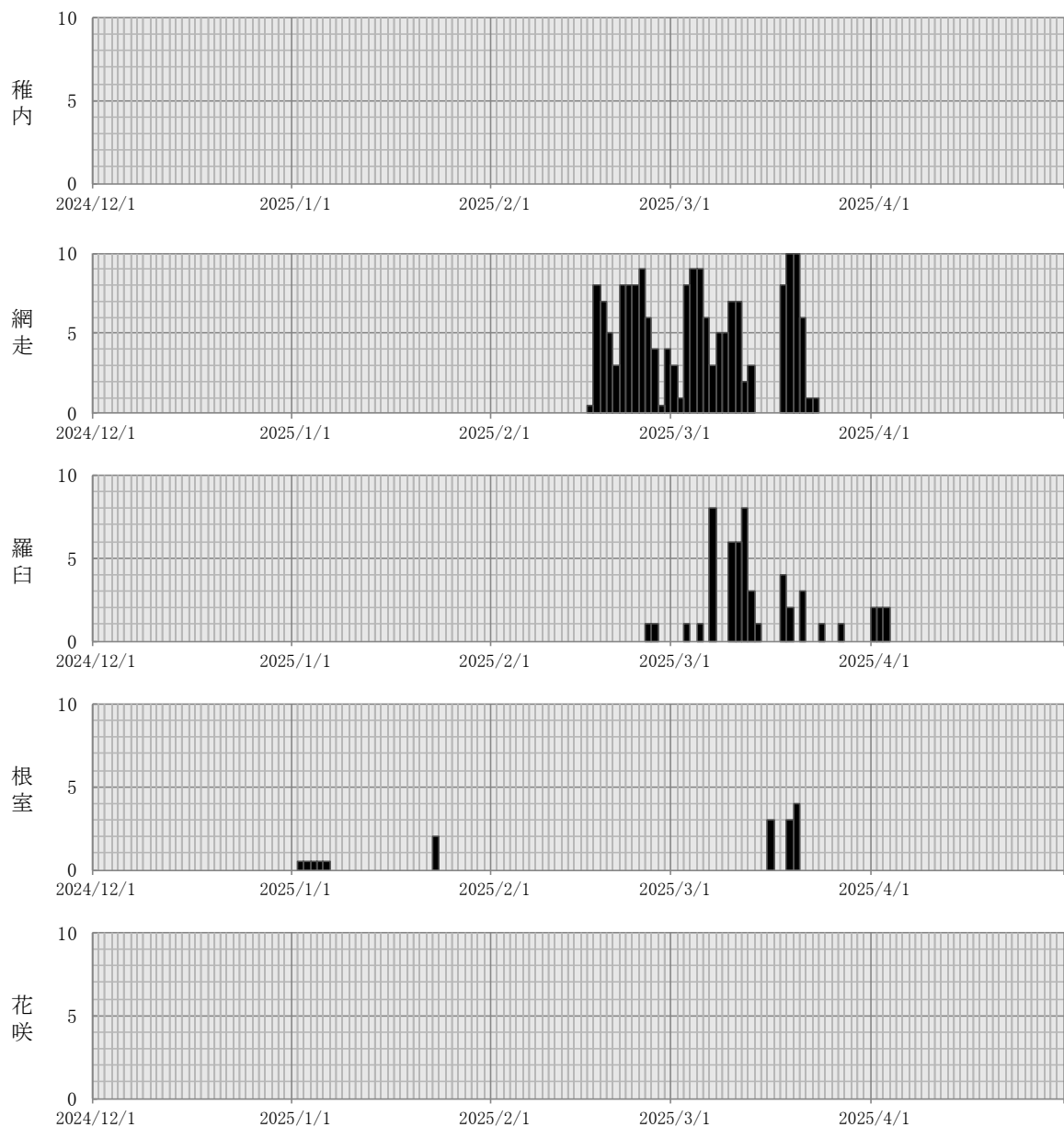
図 5.1 港内氷量



※氷量 0+は、1 に満たない氷量だが海水は存在する場合であり、便宜上 0.5 で表示している。

※羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

図 5.2 流水氷量



※氷量 0+は、1 に満たない氷量だが海水は存在する場合であり、便宜上 0.5 で表示している。

※羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

図 5.3 全氷量

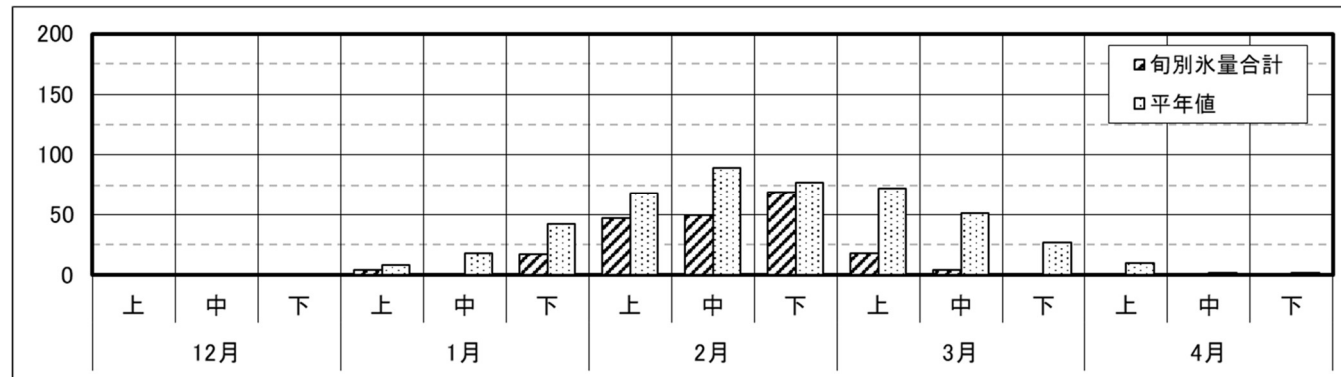
表 11 旬別氷量と全氷量

	12月			1月			2月			3月			4月			全氷量 (合計)
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
稚内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
網走	0	0	0	0	0	0	0	23	47	56	40	8	0	0	0	174
羅臼	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]	[16]	[24]	[5]	[6]	[0]	[0]	[53]
根室	0	0	0	0+	0	2	0	0	0	0	10	0	0	0	0	12
花咲	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
旬別氷量合計	0	0	0	0	0	2	0	23	47	56	50	8	0	0	0	186
平年値	0	0	1	8	18	42	68	89	77	72	51	27	10	2	2	467

※氷量は、視界内海域の全域がほぼ隙間なく海水に覆われているときを 10、海水と水面がほぼ 1/2 ずつのときを 5 とした海水面積の割合（10 分率）をいい、年間の氷量の合計値を全氷量としている。また氷量が 1 割に満たないときは 0+とし、0+がいくら多くなってもその合計は 1 にはならない。

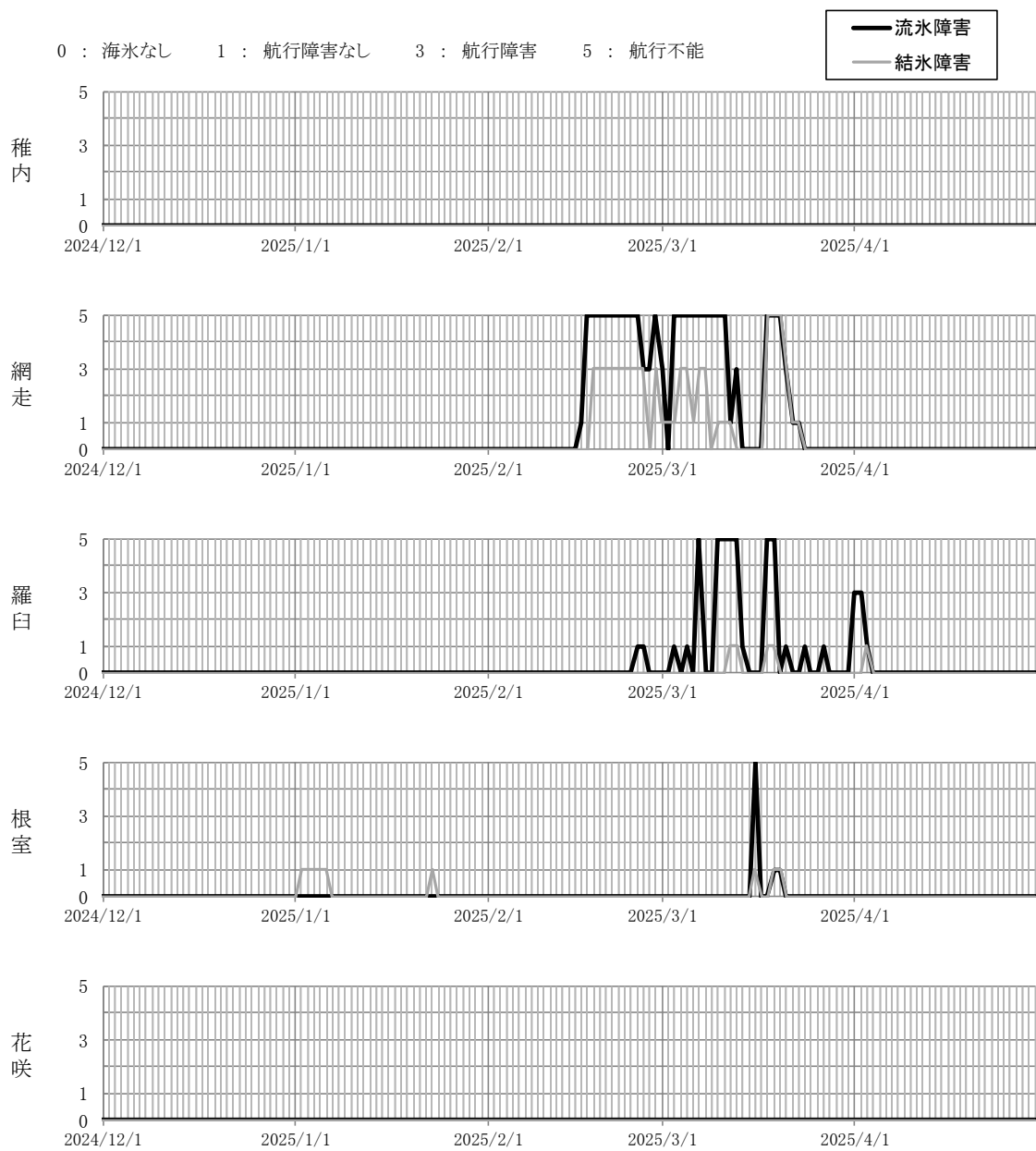
※平年値は、1991～2020 年で観測された海水量の平均値。

※羅臼は 2008 年、花咲は 2021 年から平日のみの観測となっているため、参考値としており、氷量の合計値及び平年値には含んでいない。



※今季の旬別氷量合計と平年値との比較

図 6 旬別氷量



※羅臼、花咲においては、平日のみの観測となっている。

図 7 結氷・流水による航行障害状況

7 今季の海氷状況

今季のオホーツク海南西海域の海氷状況の特徴は、次のとおりである。

- (1) サハリン南端の北緯 46 度以南への海氷の南下が確認された時期は、前年と比較して 10 日遅く、平年と比較しても 3 日遅い南下であった。

北緯 46 度以南に南下した海氷は南下と融解を繰り返し、本体からはぐれた一部の海氷が 1/23 に知床半島に接岸したがその後融解している。本体は 1 月下旬頃から南下を始め、2 月上旬に北海道沿岸に接近し 2 月中旬には北海道沿岸各地に接岸している。2 月下旬に今季の最大勢力となっている、

海氷は 3 月上旬まではその勢力を維持していたが、3 月中旬に入ると海氷域の密接度が小さくなり、3 月下旬に入ると急速に融解が進み、4 月上旬には残滓となり、4 月 15 日に海氷情報センター業務を終了した。

サハリン南端の北緯 46 度以北への海氷の後退が確認された時期は、前年と比較して 3 日早く、平年と比較して 13 日程度早かった。

- (2) 宗谷海峡から日本海への海氷の流出は、2 月上旬から 2 月中旬にかけて断続的に観測された。

根室海峡への海氷の流入は 2 月下旬から 3 月中旬まで継続的に観測されたほか、太平洋への海氷の流出は、国後水道では 2 月下旬から 3 月中旬まで継続的に観測され、択捉海峡からの流出は観測されなかった。瑤瑤水道からの太平洋への海氷の流出は、3 月上旬から中旬にかけ、ごく小規模に見られただけであった。

- (3) 沿岸の結氷については、5 箇所の沿岸観測地点のうち 3 箇所(網走、羅臼、根室)で観測され、稚内、花咲では観測されなかった。平年の結氷初日と比較して、網走では 50 日遅く、羅臼では 33 日遅く、根室では 7 日遅かった。また、結氷終日は網走では 3 日遅く、羅臼では 18 日遅く、根室では 57 日早かった。

結氷観測日数を見ると、平年と比較して、網走では 36 日、羅臼では 12 日、根室では 58 日少なかった。

- (4) 沿岸の流氷については、5 箇所の沿岸観測地点のうち 3 箇所(網走、羅臼、根室)で観測され、稚内、花咲では観測されなかった。平年の流氷初日と比較して、網走では 21 日、羅臼では 15 日、根室では 29 日遅かった。また、流氷終日は網走では 5 日早く、羅臼では 1 日遅く、根室では 1 日早かった。

流氷観測日数を見ると、平年と比較して網走では 14 日、羅臼では 9 日、根室では 17 日少なかった。

- (5) 今季の沿岸観測地点での全氷量(羅臼及び花咲については、平日のみの観測のため除外している。)は、平年値の 40%程度であった。旬別に見ると、全期間で平年を下まわっている、特に 3 月以降は平年を大きく下まわった。